

平成28年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	推薦順位	平均審査点	コメント
1	「人の輪と心を育む」ひまわり教室	聴覚障がい児の保護者及び聴覚障がい児者支援事業	聴覚障がい児の保護者や聴覚障がい当事者が集まり学び合う場を企画している。縦横の交流は将来の見通しにつながり、障がいの認識や人との関わり方やコミュニケーションについて学ぶ機会になる。また、音声と手話での絵本の読み聞かせは聞こえる人と聞こえない人が自然につながる楽しい場である。聴覚障がいについての悩みをいつでも相談できる場所である。聴覚障がい理解啓発の出席授業も行う。	自立支援	160,000	160,000	1	23.2	聴覚障がいのある子どもの保護者や当事者の相談の場であったり、学びや交流を通じて、共通の悩みや想いに共感し合い、生き方を学ぶことができ、自信が持てる場となっているのではないかと思います。聴覚障がいのある赤ちゃんから難聴学級の卒業生、母親、父親への支援、一般向けの啓発など多岐にわたる活動が、吹田で暮らす聴覚障がいのある人や保護者に大きな力となっています。今後の活動の拡大を期待します。
2	現代美術を愉しもう塾	つながり隊あつまれー	音楽と描画とダンスのコラボレーション それぞれの部門で、プロのアーティスト6人が指導するワークショップです。 音楽担当アーティストの演奏で、日本楽器尺八・ピアノ・インド楽器シタールを聞いて、描画担当アーティストの指導のもと、画用紙や段ボールや布に自由に色や線を描きます。 そして描いた布を持って壁面一杯に映し出される映像の中で、ダンス担当アーティストの指導で踊り、空間も含めた全体的な一体感を体得します。製作品は各自持って帰ります。	自立支援	150,000	0	17	17.2	トンネルアートをはじめアートを通じた長年の活動に敬意を表します。音楽とアートのコラボレーション事業「つながり隊あつまれー」は、子どもたちの成長に寄与するのではと感じました。ただ、参加メンバーは、これまで参加した人を中心に比較的限定されている印象を受けました。年1回の開催は、効果の継続や波及などの点にやや疑問を感じました。審査の結果、審査点数の平均点が基準点に達しなかったため、推薦事業に該当しないものとさせていただきます。市民公益活動という観点からは、幅広い大人と子どもの参加と交流が可能な、よりオープンな場を目指されることを期待します。
3	特定非営利活動法人吹田子ども・夢・未来協会	自然探検隊 ～ONE PIECE～	子どもたちが自然の美しさや厳しさを感じるとともに、仲間と協力しながら自ら行動できる力、生きる力を身につけていけるよう、自然に親しみ興味を感じるプログラムを企画しています。 また、異年齢で助け合いながら挑戦するなかで、思いやりの心やリーダーシップ、頑張る力を養うとともに、環境学習を通じて里山保全などへの興味づけを行い、自然との共生の大切さを学び成長できる場を提供しています。	自立支援	264,000	264,000	9	19.8	自然体験のプログラムを通し、苦しさに耐える力、考える力、協調性の育成と共に、自然環境に興味を持たせるきっかけを作る手助けは、本来あるべき人間の姿や社会とのつながりを学ばせ、たくましく心豊かな子ども達の育成を進める意義深い事業です。また、リーダー育成プログラムも同時に進められており、今後子どもたちを支える側に立つ新しいリーダーが生まれていくことを期待します。
4	特定非営利活動法人吹田市民NPO	人とひとが集い合う「輪と和のカフェ」	毎週土・日曜日(平日は夜間も含めて3日程度)を中心に子ども達から高齢者まであらゆる年代層の人達が自由に集い、特にイベント的な集まりだけでなく、200坪の庭と150坪の家を最大限活かした、それぞれにのんびり過ごせる場として提供。そこでは地域の有識者やボランティアがコーディネートする交流の場面を演出し、学習の機会等を提供し、いつでも気軽に利用する輪と和のカフェを目標とする。	自立支援	500,000	250,000	14	20.0	核家族化、高齢化を意識した特徴的な活動の発信に加え、吹田には稀な災害救援を対象活動とされていることから、震災等の非常時の備えを期待しています。活動の周知や成果の波及なども課題です。他団体等とのPPP(官民連携)が、仲間の輪を広げ、受益者を増加させるヒントです。コミュニティ醸成の場を公共施設ではなく、民間の施設を借り上げて行うことで、枠に縛られない自由な運営や新しい試みを行うことができ、また、利用者にも気軽さが期待できます。当補助金を基盤づくりの原資にさせていただけるようお願いします。審査の中で推薦順に交付した結果、推薦順位が低かったため、残念ながら半額の250,000円の交付となりました。
5	ゆう・きっず	発達障がいまたはその周辺の子をもつ親の会事業	発達障がいの子をもつ親が集まり、日頃の悩みや困り事を話し合ったり、情報交換をしながら、互いにつながり、支え合うための会です。専門の講師を招いての学習会も開催しています。学校や園でトラブルが多かったり、家庭内でも言動が荒れたり、特性の強い子を育てていく上では、特に母親に大きな負担がかかります。発達障がいの診断の有無に関わらず、気になる子をもつ親同士、一緒に子育てに向き合っていきましょう。	自立支援	223,000	122,400	6	21.5	特性のある子どもを育てていくことは、子どもの持っている個性を伸ばし、将来の人材を育てることであります。親の支え合いの場をつくる貴重な事業をされています。周辺の方々の理解度を高めるには、学校・園との関わりはとても大切です。また勉強会等でより多くの参加者と呼びかけることも継続されることを願っています。事業内容としてペアレント・トレーニング、フロアーアップ講座の追加もお聞きしましたが、継続事業と判断させていただき、初年度(27年度)補助金額の5分の4にあたる122,400円を交付します。

平成28年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	推薦順位	平均審査点	コメント
6	特定非営利活動法人すいた環境学習協会	市内公園の樹木調査と名札かけ事業	市内公園を定期的に調査し主要樹木に名札を取り付ける。樹木の名前と分類を知らせる事で、多くの市民が樹木に親しみを持ち、みどりを大切にすることを育むことができる。特に成長盛りのお子さんたちが自然や植物を愛する心を持つきっかけとなります。 日頃の巡回により常に美しさを維持・管理し市民に親しまれる公園を目指す。 また、公園の樹木を説明した冊子を作成し、市民、行政・学校等に配布する。	自立支援	410,000	320,000	11	20.1	樹木の調査、名札取り付け、維持管理、手引書作りなどの活動は、多くの市民や子どもたちが植物に興味をもつ、よいきっかけになっています。 また、環境意識の向上や市の緑化推進にも役立ち、意義深い取組みであると評価できます。今後も、安全面に十分配慮しながら樹木の成長に寄り添う息の長い活動になることを期待しています。 事業のやり方を検討することで、より多くの方が参加しやすい事業展開を心がけてください。なお、事業内容から継続事業と判断し、初年度(27年度)補助金額の5分の4にあたる320,000円を交付します。
7	特定非営利活動法人なの花	発達障がい児を持つ親の集い事業	発達障がい児を持つ親同士が集まって、発達障がいの特性や実際の子育ての工夫やポイントなどを学習します。子育てや子供の将来への見通しを持てるように、日頃の悩みや困り事を話し分かち合う場です。子供達のこれからの健やかな成長を目指すため療育などの情報交換などもあります。	自立支援	200,000	200,000	2	22.7	発達障がいについての正しい知識と理解を進める中で、意義深い取組みだと思います。親同士の交流に留まらず、様々な相談を受ける側のピアカウンセリング研修など会員のスキルアップに努めている点が評価できます。特性のある子の子育てに取り組む親を支える仕組みはまだ十分とはいえない中、常に前向きに活動されています。今後も広く支援の輪を広げる活動に期待します。なお、会員の相談能力の強化に努めていることを強化・発展と判断し、申請額を交付します。
8	モモとこどもプロジェクト	こどもの未来創造事業	5月から、月に1度程度の割合でコミュニティスペース『モモの家』を10:00～15:00まで開放します。ワークショップの時間も設けますが、その他は庭遊びをしたり絵本を読んだりと自由に過ごせます。出入り自由。お昼は、おにぎりとお味噌汁のセットを500円で販売します。(要事前予約) 田舎のおばあちゃん家のような古民家で日常から離れ、心も体も解放!	自立支援	131,300	131,300	8	20.5	月1回コミュニティスペース「モモの家」において、ワークショップや庭遊びをすることで多様な大人たちと子どもが交流し、共感し合える場が創生されることを期待しています。子どもの心や体を開放する意義深い取組みと評価できます。広報など積極的に行い、より多くの方が参加しやすい事業展開を心がけてください。
9	しののめ	地域文化<芸術>の向上事業	合唱祭やプロの演奏家を招いてのミニコンサート、映画鑑賞会、歌声喫茶、土曜スクールへの協力ほかで、世代をこえた人々の交流が深まっている。	自立支援	41,900	0	15	18.2	音楽を通して世代を超えた交流の場という理念は意義のあるものだと思います。会員資格が一部の地域に限られるなど、今回はその点での評価が低く、残念ながら交付には至りませんでした。今後の事業実施地域の拡大に加え、より多くの方が会員として参加できるように工夫してください。
10	吹田市聴言障害者協会	手話等交流カフェ	手話交流カフェを月1回開催し、手話でおしゃべりしたり、情報を共有したりします。数回、外部からゲストを招いて交流企画をします。情報コミュニケーションを保障し、聞こえない人の問題を理解していく事業で、ひとりぼっちの耳の聞こえない人をなくしていきます。そして生活の問題や悩みなどを解決していくきっかけになればと思います。	自立支援	50,000	50,000	3	22.4	耳の聞こえない人たちが気楽に集い、手話や筆談等で交流できる場づくりは、耳の聞こえない人の孤立を防ぎ、人権感覚が深められる場でもあります。自分の考えや思いを伝え、他の人の考えや思いを開ける貴重な場でもあり、これから手話を学ぼうとする人達も含めた、居場所づくりとして継続した事業を期待します。
11	特定非営利活動法人すいた体験活動クラブ	体験型環境学習支援事業 一児童たちが校庭で「花づくり」や「畑づくり」「ピオトープ改修」にチャレンジ	①小学校8校で、1・2・3年生の児童850人が花づくりや畑づくりの農業体験を行う。畑でジャガイモやサツマイモを栽培、花だんで四季の花を自分たちで育てることで、お百姓さんの苦労や食べ物の大切さ、ありがたさを体験する。 ②ピオトープは、野生の生きものとふれあえる憩いの場として、全校児童に愛されています。児童たちは自分たちの手ですばらしいピオトープに再生したいという強い思いを持っているので、児童たちの夢をぜひ実現させてやりたい。	自立支援	250,000	250,000	3	21.5	学校では自然環境に興味を持たせる場を提供する機会が少なくなっています。子どもたちに、田んぼや畑、ピオトープ、花壇などを自分たちの手で作り育てる達成感を味わわせることにより、愛情や感動が湧き、食の大切さを実感し、自然環境に興味を持つ動機づけの場としての役割は大切ではないかと思えます。活動を継続されることを期待します。

平成28年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	推薦順位	平均審査点	コメント
12	わたしにできることプロジェクト	語り合おう介護の魅力～あなたの笑顔に癒される～	介護・福祉に関する発表会を行っています。運営するのは、吹田市内で働く普通の介護職員です。日々の楽しかった・嬉しかったことや悲しかったことなど、そばで共に生きて、感じたことを職員や家族の言葉でお話し、施設での暮らし・そこの日常などを感じていただきたいです。只の発表会だと退屈ですし、幅広い年齢の方に興味を持っていただきたいと思い、楽しいイベントや出し物・出店も行う予定です。(H29年3月開催予定)	自立支援	81,882	81,882	10	20.4	介護・福祉に関わっているプロの職員たちが、他の介護施設の担当者との横のつながりを持つことで情報の共有を通じ、介護者同士のレベルアップと幅広い情報交換が、新しいアイデアにつながり介護される人たちの安心感にもつながると思います。孤独に陥りやすい介護士の自信や誇りをも高める意義深い活動です。活動の周知や成果の波及などにも注力いただき取り組まれることを期待します。
13	ママGOGO	ママ元気、マチ元気プロジェクトⅡ	吹田市内に在住の妊婦、乳幼児及び小学生を子育て中のママを対象に、子連れで参加可能な講座及び講演会を展開します。JR吹田駅近くの常設会場では、原則週3日午前中に日替わり講座をワンコインで開催します。0歳児連れの方は、同席受講が可能です。1歳以上のお子様は、同室内分離保育にてお預かりします。また、公的施設や、PTAなどでの出張講座も開催します。詳しくは、ママGOGOホームページをご覧ください。	自立支援	396,380	265,617	5	21.5	子育て中のママたちが参加できる講座や講演会を通じてママを元気にし、これによって町も元気にする事業を続けてこられたことに敬意を表します。また公民館、コミュニティセンター等公的施設と連携したコーディネート事業に取り組まれていることにも敬意を表します。今年度の事業は新規事業として申請されましたが、これまでママGOGOが目指してこられた事業の延長にある(継続)と判断し、初年度(26年度)補助金額の5分の4にあたる265,617円を交付します。今後の事業の発展に期待します。
14	吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会	吹田のバリアフリー・交通アクセスをめざす会	駅のバリアフリーチェック 歩道や公共施設の利用のしやすさや使いやすさを市民と共に考えていく	自立支援	32,460	32,460	12	20.4	障がいを持つ市民が車いすや白杖で自由に移動できるバリアフリー化は日本社会の喫緊の課題です。貴会の交通アクセス等に着目した街のユニバーサルデザイン化への貢献は高く評価され、建物のリニューアルと施設の新設が進む吹田において、その役割はより重要になると思われます。関係機関との連携も望まれます。
15	特定非営利活動法人吹田市音楽療法推進会おんがく・さ〜くる・コスモス	歌とリズムの健康いきいき教室事業	地域の元気な高齢者から要支援の方でもどなたでも一緒に参加出来、健康維持を目的に、全員で歌を歌ったり、楽器を使ったり、軽い運動や脳トレなど音楽療法を基にしたプログラムで行います。口を動かすことは口腔ケアに繋がりが、リズム運動も取り入れながら歌う「知的活動と運動」で楽しみながら認知症予防になります。健康増進、孤立防止、仲間づくり、地域社会との繋がりを促進する教室事業です。	自立支援	500,000	352,994	7	21.0	音楽療法の普及、効果は実績大であり、参加者数、イベント開催等も評価します。楽しみながら体験できる音楽療法活動には長年の実績があり体制も整っています。昨年度のメインアター大ホールを用いた参加型のコンサート形式から、今回は教室において嚙下機能や認知機能を維持する観点を重視し、健康増進だけでなく、より療養的な試みをされることに強く期待しています。音楽療法の専門性をより多くの方が享受できるように参加しやすい事業となるよう心がけてください。なお、事業内容から継続事業と判断し、初年度(27年度)補助金額の5分の4にあたる352,994円を交付します。
16	ゆずりは	障がい者地域支援事業	ゆずりはは世代を越え、障がいを越え、誰でも交流できる集いの場です。平日の水木金は障がい者や地域の方々の交流の場として利用していただき、土日祝日は障がい者を交えたイベントを多数企画します。美味しいコーヒーも準備しています。	スタート支援	100,000	100,000	13	19.5	JR吹田駅周辺以外の市民が参加できるような工夫を期待しています。実施されている多様な催しを通じて、ノーマライゼーションの促進に寄っていただきたく願います。審査結果は、補助対象団体の下位でしたが、大きな飛躍を予感させます。活動の周知や成果の波及などにも注力いただきたく願います。
17	SA国際ふれあいの会	「小学生と外国人との交流授業」	吹田市立小学校での「小学生と外国人との交流事業」は各大学の留学生、日本語教育センター留学生、在日外国人がバウポイントで日本語による自国の文化、風習、学校制度などを紹介しています。児童による日本の伝統遊びの紹介もあり、一緒に遊びます。そのあと各教室に分かれて給食を留学生と一緒に頂きます。クラスが4クラスあれば留学生4人、スタッフ4人が同行します。	スタート支援	100,000	0	16	18.5	小学生と外国の方が交流を行い、外国の文化や社会への理解を深めることは大事な事業と思われれます。しかし、貴団体はSA吹田国際交流部会より独立されたとありますが、以前からの活動の発展性が見ることができず、助成対象の基準に少し及びませんでした。今後は、この会ならではの特色ある取組みと発展を大いに期待しています。

平成28年度 吹田市市民公益活動促進補助金審査結果一覧

NO	団体名	事業名	事業概要	事業コース	申請額(円)	交付額(円)	推薦順位	平均審査点	コメント
18	吹田市・摂津市「健康医療のまちづくり」連絡会議 in USK23	地域で支えあう認知症	認知症に関心のある方や認知症患者の家族の方や薬剤師、介護者を対象に医師を交えて認知症を語り合い、認知症サポーターの養成をし、月1度の認知症カフェを運営する。	スタート支援	42,300	0	18	15.8	認知症の予防をはじめ、高齢者が元気で健やかに暮らせるまちづくりをめざして連絡会議を設立されたことに敬意を表します。しかし、この連絡会議が何を目標としているのかが不明瞭であり、そのため事業実施計画や収支予算は、具体性・実現性に乏しいと感じました。審査の結果、審査点数の平均点が基準点に達しなかったため、推薦事業に該当しないものとさせていただきます。認知症への取組みは、国・市・民間など様々なところで進められています。地域の現状を把握され、連絡会に何ができるかを明らかにした上で、再度事業を検討・具体化されることを期待します。
合 計					3,633,222	2,580,653			